

2024-25 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1606 回 (32)

会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「奉仕によるこび、よりよい社会を築こう」

日 時	2025 年 3 月 25 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「楽しい火曜日」 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 「四つのテスト」唱和 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分)
	今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】




グリーンライン奉仕の森環境整備事業終了にあたっての感謝の言葉

2002年から始まった「グリーンライン奉仕の森環境整備事業」は約四半世紀を経て今年度で終了となります。これまで奉仕の森の環境が保たれたのは偏にグリーンラインを愛する会代表の丸山孝志様をはじめ会員の皆様のご尽力とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。また、我がクラブが定期的に行って来た奉仕活動には丸山代表の専門知識やアイデアがプロジェクトの成功に大いに貢献しました。共に過ごした時間は非常に有意義で、学びの多いものでした。今後もお互いに良い関係を築いていければと思っております。

過去を振り返ると毎年の奉仕作業はとても楽しい思い出です。四季折々の風景や、一緒に作業してバーベキューを食べた児童養護施設ルンビニー園の子供達の笑顔、特に箒やスコップを握って汗を流す事は奉仕活動を実感するにはとても有効な作業であり、会員同士の親睦にもつながりました。これらの活動全てに丸山様の姿があったことを私たちは決して忘れません。私たちの奉仕作業はここで終わりになりますが、奉仕の森には西クラブの顕彰碑が残りますから、お互いの関係は長く続くことだと思います。最後になりましたが丸山様はじめグリーンラインを愛する会の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、あらためて、長年のご尽力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・地区研修・協議会 ご案内
2	
3	

【プログラム情報】

《 「奉仕の森」 修了式 》



「ロータリークラブ奉仕の森」二十有余年の軌跡と未来について
グリーンラインを愛する会
理事長 丸山 孝志 様

出会いと
はじまり



気が付いてみれば、貴クラブとのおつきあいはすでに20年を超えています。
最初に当時の藤井寛文会長から「賞状をあげるから例会において」
と声をかけていただいたのがきっかけだったと思います。



その後「クラブとして福山グリーンラインで何か活動をしたい」とご相談をいただき、広島県立後山公園の、当時「西の谷」とか「南のくぼ地」と呼んでいた場所を「ロータリークラブ奉仕の森」として整備していただけないかご相談させていただき、2003年の4月の植樹をきっかけに事業を始めさせていただきました。

その前の 「西の谷」(南の窪地)



福山西ロータリークラブが事業を開始される前の西の谷の状態は人が立ち入ることすら難しい場所でした。



消防による山岳救助訓練が行われたり
するような場所でした。



貴クラブの植樹をきっかけに事業をスタートはさせましたが、毎年ものすごい勢いで草が
茂り、年に何回も草刈りをして追いつかず、せっかくの桜も草に埋もれる状態が何年か
続きました。当時の状態をご記憶の方も多いと思います。



それでも年に何回も活動をしていただき、少しずつ公園としての体裁が整ったのは5年
くらいたってからだったと記憶しています。

膨大な活動の軌跡



ほんの一部を思い返すだけでも、後山園地での活動も「ロータリークラブ奉仕の森」だけでなく、園地全体での環境整備・環境保全に力を貸していただきました。



クラブメンバーだけでなく、「銀河学園」「ルンビニ園」などの皆さんにも参加を呼び掛けていただきました。



それからファミリーパークでは「グリーンラインの秋祭り」もやっていただきましたよね。

バザーにビンゴゲームにコンサートなどなど、本当に素晴らしいイベントをしていただき、一気に福山グリーンラインの認知度やイメージをアップしてくださいました。



それからファミリーパークでは放送設備やベンチの寄贈、桜の植樹をしていただきました。そして「グリーンライン駅伝」にまで参加してくださいました。あれは何回目の大会でしたでしょうか？参加された方は覚えていただいていると思います。



本当に本当に、数えきれないほどの活動の成果を残してくださいました。

過去の記録を調べていて、私はあるものを発見しました。

それは2003年4月13日に後山公園の「ロータリークラブ奉仕の森」で行われた植樹会にお招きいただいた際の私の挨拶です。ここでもう一度皆様にお聞きいただきたいと思います。

例会ごあいさつ（福山西ロータリークラブ殿）

皆さんおはようございます。本日は植樹の会にお招きを戴きありがとうございます。見ていただきますように、グリーンラインはすっかり綺麗になってまいりました。カラスと野犬と暴走族、不法投棄のゴミに松枯れと、あれほどに荒れ果てていた福山グリーンラインが、僅か三年でここまでよみがえるとは、正直私も思っていませんでした。これはグリーンラインを愛する会の会員の努力もさることながら、広島県福山地域事務所をはじめとする行政の理解と協力、福山西ロータリークラブの皆様はじめ様々な団体や企業の方々のご協力によるところが大きいと感じております。本当にありがとうございます。

実は平成13年の秋に福山西ロータリークラブ様に表彰していただいてから、表彰していただくことが相次いでおりまして、この度は広島県景観会議から「まちづくり大賞・地域活動の部」で「最優秀賞」に選んでいただけました。

お陰様で私たちのささやかな努力が、様々なところで認知され、評価されはじめています。私たちは「市民が出来ることは出来るだけ市民の手で」「行政に無用な負担をかけないように」と言うことを心がけて取り組んでまいりました。限られた予算の中で、出来るだけ効率よく事業を進めていただくためには、このような市民の側の意識改革が必要であると思っています。このような姿勢が評価していただけたとすれば、本当に嬉しいことだと思います。

またこの度福山西ロータリークラブが、後山公園における独自の修景事業に取り組んでくださることは誠にありがたく、嬉しい限りです。

このような事業は、
最初に何かを作ることは、
お金をかければ可能ですが、
大切なのはその後だと思っています。

せっかくお金をかけて作ったものも、
後の管理が行き届かないと
やがて荒廃してしまいます。

ただ、このような事業は最初に何か
を作ることは、お金をかければ可能で
すが、大切なのはその後だと思ってい
ます。せっかくお金をかけて作ったも
のも、後の管理が行き届かないとやが
て荒廃してしまいます。

皆様もどうぞこの場所をいつまでも美し
い場所であるように、日常的な活動をお
願いします。

どうぞこれからもお互いに力を合わせて、グリーンラインの再整備・活性化を通して地域の活性化に取り組んでゆきましょう。本日は本当にありがとうございました。

平成15年4月13日

NPO法人 グリーンラインを愛する会
理事長 丸山孝志

ごあいさつの中で

このような事業は最初に何かを作ることは、お金をかければ可能ですが、大切なのはその後だと思っています。せっかくお金をかけて作ったものも、後の管理が行き届かないとやがて荒廃してしまいます。

と、お話をさせていただきました。今もこの思いは変わっていません。



これは何も福山グリーンラインに限ったことではないのかもしれませんが、今でも福山グリーンラインの各所にこのような遺跡がいくつもあります。

かなりの費用を費やして整備して下さった公園が、団体の解散後荒廃してしまって原野に戻ってしまったり、道路わきの空き地の草むらに

いくつも記念碑が埋もれています。私たちの力が足りないばかりに、こうした場所を守り切れないことが、本当に残念でもあり、申し訳なくもあります。



私たちは、20年以上の年月、多くのロータリアンの方々が使命感に燃え、希望や夢を共有して作り上げてくださり、守ってきて下さった「ロータリークラブ奉仕の森」を、こうした場所にしてしまってはならないと強く思っています。

立ち止まって 考えてみましょう

「ロータリークラブ奉仕の森」の事だけでなく・・・。

同時に、福山西ロータリークラブが20年以上も同じ場所で活動を続けてきてくださったことが、如何に異例の事であるかもよく理解もしています。

「もうそろそろ、このあたりで一度立ち止まり、将来の活動について考えてみようではないか」という声があるのは、きわめて当然のことだということもよく理解しています。わたしたちグリーンラインを愛する会も、の機会にもう一度「ロータリークラブ奉仕の森」の将来について、福山西ロータリークラブ様との関係について、考えてみようと思っています。過去の皆様の功績を決して軽んずる思いは全くありませんし、皆様との数えきれないほどの思い出も、いつまでも大切にしていゆきたいと思っています。しかし、今はそれよりも、将来について考えてみるべき時、考えていただくべき時だと思います。

「ロータリークラブ奉仕の森」 の現状と

「グリーンラインを愛する会」の今後の活動方針

そこで、今日は「ロータリークラブ奉仕の森」の現状と、私たちの今後の活動方針をご報告し、同時に皆様に考えていただきたいこと、お願いしたいこととお話させていただきます。また、後ほど皆様からのご意見

やご質問を頂戴する時間も取らせていただきます。もちろん、この場で時間が足りなければ別の日、別の場所でもお声がけをいただければ、いつでもどこでも行かせていただきますので、よろしくお願いいたします。

「ロータリークラブ奉仕の森」 の現状

まずは植栽の現状のご報告

まず現状のご報告です。中には頻繁に「ロータリークラブ奉仕の森」を訪ねて下さっておられる方もおられることは承知をしています。



まず植栽の状況ですが、全体に植えている「水仙」「彼岸花」は年によって開花状況が大きく変動しています。これには私たちの管理の下手際も影響しており、いろいろと勉強をして、試行錯誤を続けています。

これは水仙の様子です。



何年かに 1 回はこんなにきれいな年もあります。



そしてこちらは彼岸花です。彼岸花は 9 月上旬から下旬にかけて咲きます。

最近は少し水仙に押されて少なくなっています。

いちど球根を植え替えたこともあります、とんでもない労力が必要でした。2023 年の秋には「アサギマダラ」がやってきて、沢山の愛好家の方が来てくださいました。



桜の木については、もともとあまり良いとは言えない土壌のせいで、生育も思わしくなく毎年のように何本かが枯死しています。もちろんいろいろと手を尽くし、その都度植え替えてはいますが、土壌改良をやるには費用と人手が足りず、苦戦中です。



2023年に植えていただいた「イロハモミジ」「オオデマリ」「イタヤカエデ」「サンシュユ」などのようすです。まずは植樹会の様子を思い出していただきます。



2023年に植えていただいた「イロハモミジ」「オオデマリ」「イタヤカエデ」「サンシュユ」ですが、なんとか成長を続けてくれ、昨年あたりから開花も始まりました。



また、10年ほど前から徐々にイノシシによる被害が目立ち、その復旧に大きな労力と費用を要するようになっていました。公園の各所に監視カメラを設置するなどし、侵入経路などを確認し、対策を検討してきました。



園地を守るために、広島県との理解と協力を得、「コメリ緑財団」他の助成をいただいて設置した「イノシシ侵入抑止フェンス」ですが、昨年夏に「奉仕の森」部分の工事は完了しており、今年の春には残り部分も工事を完了させることができます。

「ロータリークラブ奉仕の森」の将来

わたしたちはこのように思っています

次に「ロータリークラブ奉仕の森」の将来についての私たちの思いです。私たちは「ロータリークラブ奉仕の森」の名前を消さないでいただきたい、消したくないと思っています。「ロータリークラブ奉仕の森」の名前は、行政と、福山西ロータリークラブと、私たち愛する会が、20年以上にわたって「民の力で公共の場所を守る」という活動を続けてきた証であり、記念碑です。



ですので「ロータリークラブ奉仕の森」の名前だけでなく、数年前に設置した案内看板も、記念碑もできればそのまま残していただきたいと思います。たとえ福山西ロータリークラブとしての定期的な活動が休止されても、「なんだこの場所は」と言われたいような維持管理は、私たちグリーンラインを愛する会が責任をもって行います。

「福山西ロータリークラブ」 と わたしたち

今後のおつきあいについて
わたしたちはこう考えています

また、福山西ロータリークラブとグリーンラインを愛する会の関りも、できれば今の良い関係を継続させていただきたいと思っています。具体的には以下のようなことを考えています。クラブとしてまたお一人お一人としてどう思われるかのお考えをお聞きしたいと思っています。

- ♥ わたしたちからの
情報発信を続けさせていただきませんか？
- ♥ 不定期で良いので
現地での活動を考えていただければ嬉しいです。
- ♥ 「ロータリークラブ奉仕の森で何か活動をしないか？」
嬉しいサプライズは大歓迎です。

まず、福山西ロータリークラブに向けて、グリーンラインを愛する会から活動の状況や、「ロータリークラブ奉仕の森」の状態などの定期的なご報告をさせていただきたいと思えます。それから、お花見現地例会などの不定期な現地での活動を企画していただければ嬉しいと思います。ひょっとしたら何十年後かに「後山公園のロータリークラブ奉仕の森での活動を計画しないか？」という話が出るかもしれません。それもとてもうれしいサプライズだと思います。このタイミングでクラブとしての定期的な活動は一旦終了されたとしても、「ロータリークラブ奉仕の森」の存在そのものはクラブとしてずっと認知してやっていただきたいと思えます。

クラブメンバーの皆様へ お願い・ご提案

それから、クラブメンバーの一人一人への
お願いというか、ご提案です。

ひとつはグリーンラインを愛する会からの情報
を受け取っていただきたいというお願いです。



グリーンラインを愛する会は「公式サイト」「公式フェイスブック」「公式LINE」などを通して、様々な情報をお届けしています。この情報を受け取っていただくことは、グリーンラインを愛する会の活動や、ロータリークラブ奉仕の森の様子を知っていただくことだけでなく、私たちからのお願いや呼びかけも受け取っていただくことができます。宜しければこうしたお願いや呼びかけに答えていただければと思います。具体的な例を紹介します。

「ロータリークラブ奉仕の森の水仙が見頃です」

時には「グリーンラインを愛する会の活動の中で、ベンチを設置しようと思います。ご寄付をいただけませんか？」という呼びかけをさせていただくこともあるかもしれません。もし呼びかけに答えていただければ本当にうれしく思います。



また、「桜の開花は〇〇日の予想です」と言うお知らせをお届けしますので、それを見られて「ロータリークラブ奉仕の森」に出かけていただければ嬉しいです。のほかに公式のYouTubeチャンネルもあります。日常の様々な活動の紹介だけでなく、季節ごとの景観案内や、ピュースポットのご案内などもあります。お手元にURLとQRコードを印刷したものをお渡ししていると思いますので、是非ともよろしくお願ひします。左端のようなチラシの裏側の下の方にURLとQRコードが印刷してあります。公式のホームページでは毎月発行している会報もご覧いただけますし、連絡用のメールフォームもあります。



「個人として支援を続けたい」と思ってくださいの方に
様々な支援の方法をご提案します。

1. 本会の活動への参加や、活動の支援
2. 個人やグループでの現地のボランティア
3. 寄付で活動を支える

それから「クラブとしての継続的な支援は一旦終わっても、個人としての支援は続けたい」というありがたいお申し出を
して下さっている方もいらっしゃいます。「具体的な支援方法を教えてほしい。」
というお話もありましたので、最後に少しだけこの話をさせていただきます。

支援方法をだまかに三つに分けてご紹介します。

「個人として支援を続けたい」と思ってくださいの方に

1. 本会の活動への参加や、活動の支援
月例会（基本は毎月第2日曜日）
臨時的な活動は会報・LINE・フェイスブックなどで

活動に参加できなくても・・・
差し入れ大歓迎
重機などの提供をしてくださる方もあります。

まずは「本会の活動への参加や、活動の支援」です。活動の支援は金銭的な支援は別のところ
でお話しします。本会の現地活動のメインは「月例会」です。基本は毎月第2日曜日の午
前中です。草刈りとか清掃とかがメインです。みんなでお昼を済ませて解散です。
なかには「忙しくて活動には参加できないから」といって差し入れをしてくださる方や、
「言ってくればウチの重機を貸すよ」と言ってくる会社もあります。

「個人として支援を続けたい」と思ってくださいの方に

2. 個人やグループでの現地のボランティア
時々一人で、黙々と道路際の落ち葉を清掃してくださる方
数人の仲間で年数回、道路の下のごみを回収してくださる方
社員を連れて広場の植栽の手入れをしてくださる社長
社員会に会社の機材を提供し、
路側の土を撤去してくださる会社

ひとりでも、年1回でも、1時間でも
あなたが出来る時に、あなたが出来ることを、
あなたができるだけ・・・。

次は「個人やグループでの現地のボランティア」をご紹介します。

- ・時々一人で、黙々と道路際の落ち葉を清掃してくださる方
- ・数人の仲間で年数回、道路の下のごみを回収してくださる方
- ・社員を連れて広場の植栽の手入れをしてくださる社長
- ・社員会に会社の機材を提供し、路側の土を撤去してくださる会社

ひとりでも、年1回でも、1時間でもあなたが出来る時に、あなたが出来ることを、
あなたができるだけ……。それが福山グリーンラインを守ることになります。

「個人として支援を続けたい」と思ってくださいる方に

3. 寄付で活動を支える

「地域活性化支援企業」

(年間1万円～ 個人でも可能)

「善意の植樹」

(あと50本ほど 1本1万円)

「使途指定寄付」

(「〇〇のひろばを守るために使ってほしい」など)

「物と労力の寄付」

(過去の事例)

スコップ10本、一輪車5台、飲料水10ケース

三番目は「寄付で活動を支える」例をご紹介します。まずは「地域活性化支援企業」に登録していただくことです。金額は年間1万円～で、個人でも登録可能 もう25年間ご寄付をいただいている企業も。

つぎに「善意の植樹」ですが、1本1万円のご寄付のお礼に福山グリーンラインの各所に植えた樹木に寄付者のプレートを付けさせていただいています。大変好評ですすでに500本以上の寄付をいただきましたが、もう植える場所がありません。あと50本ほどでこの事業は終わります。また過去には「使途指定寄付」もいただきました。

「捨てられた犬たちの保護活動に使ってほしい」と歌手の方から多額のご寄付を頂戴したり、「〇〇のひろばを守るために使ってほしい」と10万円ものご寄付をしていただいた方もおられます。

最後は「物と労力の寄付」の例をご紹介します。記載しているのは「西日本豪雨災害」の際に、本会が広島市・呉市などに本会が所有する機材の大部分を提供した際に「それでは今後の活動に困るだろ」と、ある団体の理事長様から頂いたご寄付の例です

「個人として支援を続けたい」と思ってくださいる方に

「自分も（自分の会社も）何か社会の役に立ちたい。」

その思いがあれば、必ずできることがあります。

特別なことでなくても良いのです。

「できる人が」 「できることを」

「出来る時に」 「出来るだけ」

それが基本です。

思いがあるなら、まず小さなアクションをお願いします。

「自分も（自分の会社も）何か社会の役に立ちたい。」その思いがあれば、必ずできることがあります。特別なことでなくても良いのです。

「できる人が」 「できることを」 「出来る時に」 「出来るだけ」それが基本です。

思いがあるなら、まず小さなアクションをお願いします。

「ロータリークラブ奉仕の森」 が 永く市民に愛される場所 あり続けますように

貴重な時間をいただき、今までいろいろなお話をさせていただきましたが、まとまりがなくて申し訳なく思います。今の私の気持ちを一言にまとめるとすれば、このような言葉になるかと思えます。皆様も同じ思いでいてくださると信じます。
ご清聴ありがとうございました。



奉仕の森環境整備事業は当クラブの藤井英勝会員が社会奉仕委員長の時に始められました。それ以来歴代の委員長が引き継がれて23年になりますから、この奉仕事業は我がクラブの伝統と言ってもよい活動です。それを終了するというには反対意見もありました。しかし、ロータリーにはつねに新しい奉仕を見つけるという方針があります。その方針に則って、会長の私が終了の決断を致しました。しかし、これまで築いてきたグリーンラインを愛する会との絆はこれからも大事にしたいと思えます。今後も機会がありましたら昔のことを語り合い、笑い合いながら、友情を確かめ合って、絆がより強固に結ばれることを願っております。時々例会に遊びにお越しください、友誼永存であらんことを。

会長 鹿内 要秀



【その他報告】

《 3分間スピーチ 》

ロータリー情報委員長 竹中 雅彦

ポリオウイルス根絶への取り組み

国際ロータリーは 35 年以上前からポリオを世界から根絶するための活動を続けています。

ポリオウイルス

ポリオウイルスによっておこる身体麻痺を伴う疾患で急性灰白髄炎（Poliomyelitis）の短縮名称で野生型ポリオウイルスとも呼ばれている。日本でも戦後流行し多くの小児が死亡し回復しても脚に麻痺が後遺症として残った。一般的には小児麻痺と呼ばれていた。その後ポリオワクチンの普及で日本からポリオウイルスは根絶された。

ポリオ根絶

2007 年の規定審議会でポリオの根絶を RI の最優先の目標とすることが承認され 2016 年の規定審議会でポリオの根絶は国際ロータリーの最高の目標であることが承認支持された。世界ポリオ根絶推進運動（GPEI）を行いロータリーはポリオの症例を 99.9%減らすことに貢献した。

2022 年 6 月末現在の常在国としてアフガニスタンとパキスタンがあるが国内の政治状況が悪くワクチンの推進活動が困難となっている。今根絶運動を中止した場合 10 年後には 20 万人の子供がポリオによる麻痺障害に侵される可能性がある。

ポリオプラス補助金

ポリオプラスとはポリオワクチンとともに投与されていたその他のワクチンを指していた。現在はポリオ根絶の取り組みによって築かれたインフラやファンレイジング（民間非営利組織の資金集め）とアドボカシー（利用者の権利を擁護・代弁すること）のノウハウを他の疾病対策に生かしていくことも意味している。

全世界の地区から寄付された資金はオプラス補助金として世界保健機構（WHO）とユニセフに授与されポリオ根絶活動に資金を提供する。

福山西クラブからのポリオ根絶に対する寄付は皆様の後期会費から 15 ドルを徴収しています。ご理解をお願いいたします。

【クラブ活動報告】

《 第 31 回国際ロータリー2710 地区ガバナー杯ロータリークラブ親善野球大会 》



全員で勝利のガッツポーズ

大会名	球場										年月日
チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
防府RC	1	3	4	0	2						10
福山西RC	4	0	0	2	5						11

KENKO BALL
ナガセケンコー株式会社

第 2 試合目 対広島東南 RC

4 点ビハインドの 5 回裏、
松下選手の劇的なサヨナラ 3 ラン

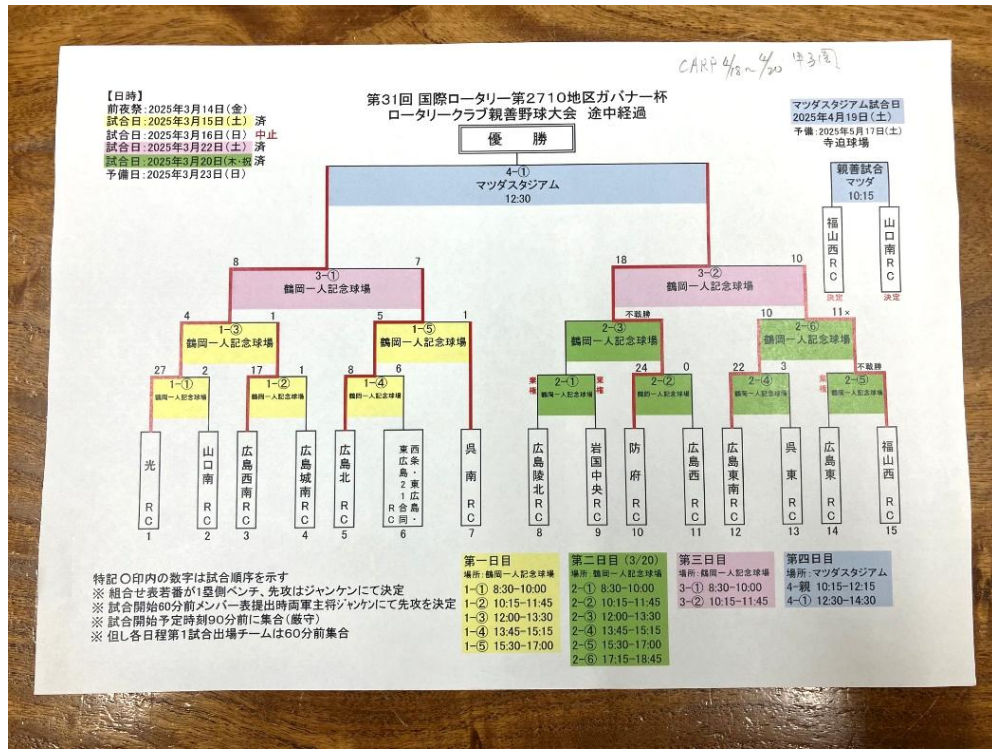
大会名	球場										年月日
チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
防府RC	8	2	8								18
福山西RC	6	1	3								10

KENKO BALL
ナガセケンコー株式会社

開始時刻
終了時刻

準決勝 対防府 RC

前の試合の疲れあり？しかし懸命に戦った
負けて悔いなし!!



さあ出陣



最高殊勲選手松下



祥子マネージャー



キャッチャー高橋



エース竹信



お疲れ様 下平・竹信



お疲れ様 井上



お疲れ様 菅田・小林



ヒットを打つ前?黒木



パパががんばったよ!!

球親会の皆さんお疲れ様そして感動をありがとう!!

